

2027年度入試 関西大学中等部 入試に関する変更について

1. 募集人員表記の変更

〔変更前〕

【前期】〔4教科・3教科型〕約60名 〔英検加点型〕5～10名

【後期】〔2教科型〕5～10名

〔変更後〕

【前期】〔4教科・3教科型〕〔2教科+英検型〕合計約65名

【後期】〔2教科型〕約10名

2. 前期 英検加点型の名称・配点の変更

〔変更前〕英検加点型

2教科（国語・算数 各教科100点満点）を受験し、2教科の合計点×1/2（100点満点換算）と、英検加点（50点満点）の合計（150点満点）で合否判定を行う。

<英検取得級による加点>

準1級以上 50点、2級 45点、準2級プラス 40点、準2級 35点、3級 20点

〔変更後〕2教科+英検型

2教科（国語・算数 各教科100点満点）を受験し、2教科の合計点（200点満点）と、実用英語技能検定（英検）取得級による得点（100点満点）の合計（300点満点）で合否判定を行う。

<実用英語技能検定（英検）取得級による得点>

準1級以上 100点、2級 90点、準2級プラス 80点、準2級 70点、3級 40点

3. 前期 4教科・3教科型の理科・社会 試験時間の変更

〔変更前〕国語・算数・理科・社会 各教科45分

〔変更後〕国語・算数 各教科45分 / 理科・社会 各教科40分

4. 後期「ボーダーライン優遇型」による合否判定の導入

2027年度以降の中等部後期入試において、前期・後期の両方に出願し、両方とも受験した者は「ボーダーライン優遇型」による合否判定を行う。

- ① 合格最低点Aと合格最低点Bを設定する。（合格最低点Bは合格最低点Aから10点を差し引いた点で設定）
- ② 後期のみに出願、受験した者は、合格最低点Aにより合否判定を行う。
- ③ 前期・後期の両方に出願し、両方とも受験した者は、合格最低点Bにより合否判定を行う。

以上